

スキルアップ研修～呼吸器編～ 美郷町中央ふれあい館

10月4日(土) 9:45～12:30 参加者：3名



少人数で和気あいあい



自己紹介中です



マスクフィッティング

つける側も受ける側も 緊張!!

県南は、医療的ケア児への介入が多い地区と講演に先立ち、先生からのお話がありました。

参加人数は少なかったですが、一人一人の体験にじっくりと時間をかけ、全体的にフランクな研修となりました。

参加者からも積極的に質問があり、「呼吸」に関する学びの共有が出来ました。

【質疑応答 例】

Q:拘束性肺障害の利用者、SPO₂が上昇してこないときの対応について教えてもらいたい。

A:拘束性肺障害の方に対しての対応は、基本的に肺の拘束を解除する必要がある。ガチガチに硬くなった呼吸筋を柔らかくして、根本的な原因から対応していく。そのためには普段から呼吸介助を行い、呼吸筋のストレッチ等のケアを取り入れるのが望ましい。

